

会津ユキマスから分離した病原性細菌について

福島県内水面水産試験場 生産技術部

部門名 水産業－内水面(増養殖)－内水面養殖業
担当者 佐藤太津真・泉茂彦

I 新技術の解説

1 要旨

本県内水面養殖業の新たな魚種である会津ユキマスは、冷水性の魚種であり、養殖現場では夏季に大量にへい死する事例が多く見られていた。本場でも2009年7月、飼育魚にへい死がみられたため、病魚の検査を実施した結果、腎臓から病原性を示す細菌が分離されたので、この細菌について性状調査及び攻撃試験を実施し、併せて有効な薬剤についても調査した。

- (1) 原因菌を性状検査し、さらに(独)水産総合研究センターに同定を依頼した結果、原因菌は*Edwardsiella tarda*であった。
- (2) 攻撃試験の結果、体重100gあたり0.01mgの投与群でも4日以内にすべてへい死したことから、本菌の会津ユキマスに対する強い毒性が確認できた。
- (3) 治療薬はマス類の承認医薬品全てで効果が見られたため、養殖現場においては、へい死魚を発見次第速やかにこれらの薬剤を投与することでへい死は収束するものと考えられる。

2 期待される効果

会津ユキマス養殖現場でのへい死魚が減少することで生残率の向上が図られ、養殖生産の安定と効率化が期待できる。

3 適用範囲

養殖業者、種苗生産機関

4 普及上の留意点

当該疾病の確実な診断を行い、薬品を使用する場合には使用基準を厳守することが重要である。

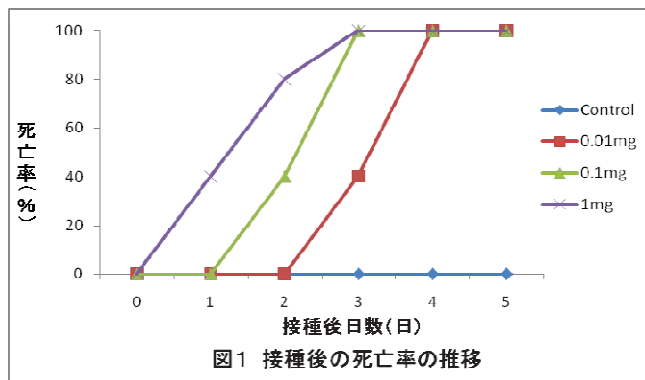
II 具体的データ等

表1 分離菌の性状検査結果

性状	分離株
グラム染色	—
運動性	+
インドール産生	+
オキシダーゼ産生	—
ウレアーゼ産生	—
硫化水素産生	+
カタラーゼ産生	+
アルギニン分解	—
リジン脱炭素反応	+
オルニチン脱炭素反応	+
O/129感受性	+
糖分解能	
グルコース	+
スクロース	—
マンニトール	—
イノシトール	—
ソルビトール	—

表2 薬剤感受性試験結果

薬剤名	感受性
オキシリン酸	+
フロルフェニコール	+
スルフェモノメトキシシ	+
塩酸オキシテトラサイクリン	+
スルフィゾールナトリウム	+
ノボビオシンナトリウム	+



III その他

1 執筆者

佐藤太津真

2 研究課題名

内水面養殖における高品質・省力化技術開発試験

3 主な参考文献・資料

(1) 平成21年度福島県内水面水産試験場事業報告(2011)